

# 射水市廃棄物減量等推進審議会 議事録

## 1 開催日時

令和3年11月2日(火) 午前10時から11時40分まで

## 2 場 所

射水市役所本庁舎2階 会議室201～202

## 3 出席者

### (委員)

- ・川上 智規 (富山県立大学工学部環境・社会工学科 教授)
- ・川腰 喜久雄 (射水市地域振興会連合会 副会長)
- ・沖 和美 (いみず女性ネットワーク 会長)
- ・松丘 弘光 (射水市環境衛生協議会 会長)
- ・竹苗 典子 (射水市食生活改善推進協議会 会長)
- ・砂原 良重 (射水商工会議所 事務局 局長)
- ・八箇 かの子 (射水市商工会女性部 部長)
- ・加治 秀夫 (射水市一廃収運業者協議会 会長)
- ・高野 ゆかり (射水リサイクル協議会 会長)
- ・九澤 和英 (富山県環境科学センター 所長)

### (事務局)

- ・京角 悦朗 (市民生活部 副参事兼環境課長)
- ・市井 秀明 (環境課 課長補佐)
- ・林原 敦夫 (環境課 主査)
- ・樫葉 友一 (環境課 主任)

## 4 配布資料

(資料1) 令和2年度射水市一般廃棄物の処理の概要

令和3年度射水市一般廃棄物処理実施計画

(資料2) 一般廃棄物処理基本計画(中間見直し)概要

第2次射水市一般廃棄物処理基本計画(概要版)

## 5 議題

- (1) 令和2年度射水市一般廃棄物処理の概要及び  
令和3年度一般廃棄物処理実施計画について
- (2) 第2次射水市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

## 6 質疑応答及び意見の概要

### (1) 令和2年度射水市一般廃棄物処理の概要及び令和3年度一般廃棄物処理実施計画について

委員	<p>3 ページの下のグラフを見ると、家庭系収集量と家庭直接搬入量が伸びていることが全体に大きく効いていると思う。</p> <p>次に 10 ページにあるように持ち込み件数が毎年千件、2 千件単位で増え続けているのは異常な状況であると思う。他市町村では、野焼きが厳しくなったことで、剪定枝や枯れ草等が多く持ち込まれることになり、そういったものが影響しているといった話もあった。まずはしっかり増えている原因をつかむために、例えば持ち込まれた方に対する簡単なアンケートを実施することで、実際にどういったことが発生しているのかをしっかりと把握できればよいと思う。</p> <p>9 ページの民間事業者独自回収量及び拠点回収というのは、スーパー等で独自回収を実施しているところの数値も含まれているのか。</p>
事務局	<p>A 社の市内店舗での回収量と福祉作業所での回収量も合わせたものとなっている。</p>
委員	<p>富山県で認定しているエコステーションについて、射水市では 10 か所と多く登録いただき、事業者等が民間独自で回収されている。買い物のついでに新聞や雑誌を置いていくというかたちが増加している。そういったものも含めて把握できれば全体がもっとわかるようになるのではと思う。</p>
事務局	<p>持ち込み増に対してのアンケートについては会長からも同様の指摘をいただいている。把握はしていかなければならないと思っているので、方法としてはアンケートが良いのかどうかも含めて検討し、現況の把握に努めたい。</p> <p>9 ページの民間事業者の回収量については、A 社の市内店舗の数値を反映していると説明させていただいたが、委員ご発言のとおり市内には、他にも、複数のスーパーやディスカウントストアの店舗でも記載の品目で回収している。回収の際には、富山県内他市町村の店舗の資源物も合わせて一度に回収しているとのことで、店舗ごとの回収量の把握は難しいとのことだ。今後事業者等に協力を依頼し、実態の把握に努めていきたい。</p>

委員	<p>8 ページ目ミライクル館直接搬入資源物について、使用済み小型家電が増加している。但し書きにパソコンの搬入量を含むとあるが、パソコンのほかにもどのような家電が多いのか。</p>
事務局	<p>使用済み小型家電の種類別の搬入量は把握していないが、いわゆる大型家電以外の家庭用電子機器（電気ジャーやラジオなど）が対象である。小型家電リサイクルの制度が始まるまでは、一般の不燃物として処理されていた。破碎処理をかけて、プラスチックの部分は燃やすごみ、ガラスは埋立にする、鉄の部分については資源として売却をしていた。近年業界のリサイクル技術も進歩しており、有用金属をより効率的に事業者で取り出せるようになっている。</p> <p>また、（小型家電の）回収については、不燃物としてごみ集積所に出してもらうことも可能であり、ミライクル館での無料引き取りも行っている。これらの回収体制の周知が広がってきていて、年々回収量が増加していると思われる。また、未実施ではあるが、小型家電の民間宅配回収の導入についても検討しており、回収量の拡大を引き続き図っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>令和元年度から令和2年度にかけて約10トンも増えている。また、平成24年度比で142.5%増となっている。このままの増加量で推移していても、リサイクルでの有効利用は可能なのか。</p>
事務局	<p>小型家電のリサイクルについては、ハリタ金属に委託している。ハリタ金属は国が認定する小型家電リサイクル事業者であり、この先の小型家電の数量増加にも十分対応可能である。</p>
委員	<p>12 ページ下段の生ごみの減量について、ごみ処理機材の購入に対する補助金の交付実績が平成27年度と比較すると令和2年度の実績が3倍にもなっているが、どのような補助をされているのか。また、この制度についてPRされているのか。どういった家庭から申請があるのか。補助要件・事前審査はどういったものになるのか。</p>
事務局	<p>電気式の生ごみ処理機について、ご指摘のとおり、令和2年度多くの申請があった。生ごみ処理機の購入助成の補助率については、購入額の3分の1で上限額を1万5千円としている。周知については、市ホームページで補助制度について公開しており、家</p>

	<p>電販売店において、自治体によっては助成が出るため確認するように伝えている店舗もあるようだ。</p> <p>購入される方の傾向については、様々ではあるが、転入や家の新築をされた方等、家電製品を揃える際に生ごみ処理機も購入されるケースが見受けられた。また、増加傾向については、コロナ禍において家庭での料理の頻度が増えたことも要因の一つではないかと考えられる。今後の傾向を含めて調査していきたいと思う。</p> <p>補助要件については、予算との兼ね合いはあるが、要件を満たした申請についてはすべて補助している。</p>
委員	製品の大きさはどれくらいのものになるのか。
事務局	大きさは製品ごとに異なるものになるが、電子レンジぐらいの大きさの製品と考えてもらえればと思う。
委員	生ごみを処理した残渣の処理についてはどのようにしているのか。
事務局	色々な製品があるが、処理したものについては家庭菜園の肥料となるものや、残渣が発生しないような製品もある。
委員	ある事業者において、大規模な食堂の生ごみを同様に処理し乾燥したものを袋に詰めて職員に無料で配布するようなことをおこなっていた。そういった取組があれば、資源の有効活用だけでなく、美味しい野菜作りに繋がるのではと思う。
事務局	ごみの減量化の中で食品ロスは問題となっている。それらの問題を解決するための取組なので、引き続きこの助成は継続していきたいと考えている。
会長	<p>11 ページ下段の一人当たりのごみ排出量が平成 30 年度から年々の増加割合が増えていっている。この要因はなにか。</p> <p>また、この数字と、実施計画の 2 ページ下段の一人当たりのごみ排出量の数字が異なるがこの数字の違いは何か。</p>
事務局	平成 30 年度を境に令和元年度、令和 2 年度と大幅に数値が増加している要因については、最終処分量が増加していることにある。いままで焼却施設においては、灰は溶融してスラグ化して、アス

副会長	<p>ファルト骨材やなどに再利用していたが、近年引き取り手がなくなり、灰溶融炉を休止した。そういった要因で最終処分量が著しく増加し、重ねてリサイクル量が減少し、一気に一人当たりのごみ排出量が増加することとなったため、グラフとして右肩上がりとなっている。要因が明確となっているので、今後も右肩上がりに増加していくものではないと見込んでいる。</p> <p>資料1の11ページについては燃えるごみと燃えないごみと埋立ごみの総量を市の総人口で除して1日あたりの量で計算したものである。一方で、実施計画の2ページの数値は資源ごみを含むものとなっている。</p> <p>8ページのミライクル館直接搬入資源物について、令和元年と令和2年に段ボールや新聞・チラシの搬入量が急激に減少している。団体によっては報奨金を活動資金としているようだが、この減少理由はなにか。</p> <p>また、生ごみ処理機について、古い製品だと残渣が付着して固まってしまうような製品もあったが、現在普及している製品についてはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>段ボールや新聞・チラシについては、令和元年度、2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で集団回収を中止とする団体も多くあり、実施が少なかったことが要因として挙げられる。その減少分の新聞・チラシ等はどこにいったのかについては、本来であればミライクル館は無償で引き取りしているため、集団回収がない分ミライクル館に持ち込みされる量の増加が見込まれるところだが、実際は減少していることから、民間のリサイクル業者への持ち込みや燃えるごみとして排出されたのではと考えられる。このことについて、要因を検証していくとともに、ミライクル館の回収については市民に対する周知・啓発を一層強化していかなければと考えている。</p> <p>生ごみ処理機の残渣の付着については、最近の製品は技術改良が進みそれらの問題は少なくなったと認識している。</p>
委員	<p>報奨金の交付制度について、資源回収はPTA等の団体が実施していると思うが、市が支払う報奨金によって市民のやる気に繋がると思う。その点についてなにか把握されていることはあるか。</p>
事務局	<p>報奨金については、段ボール・新聞・雑誌・紙パック・古布を対</p>

	<p>象として、1kgあたり、3円の報奨金を支給している。これについては県内他市も同じ金額で設定している。</p>
委員	<p>11ページに記載してある新聞雑誌等の需要が減っているというのは、売上単価が減っているということなのか。</p>
事務局	<p>発行部数自体が減少しており、モノが減っていることを指している。</p>
委員	<p>それらの需要が減っていることに加えて、学校において児童数が減少し、保護者数も減っている中で、労力に対する報奨金については、他市と比較して高い安いという問題ではないのではないか。</p> <p>例えば新聞は資源回収でも料金が高いものとなると思うが、そのあたりの補助の制度について、市はどれくらい補助をおこなっているのか。</p>
事務局	<p>段ボール・新聞・雑誌・紙パック・古布は一律で1kgあたり、3円の報奨金を支給となっている。</p>
委員	<p>1kgあたり5円の時期もあったと把握しているが、児童数及び保護者数の減少の中だからこそ、やる気を出させるために報奨金を5円に戻すということも検討してはどうかというご提案をさせていただく。</p>
会長	<p>県内で報奨金を5円で設定しているところはないか。</p>
事務局	<p>現在はない。</p> <p>相場が良いときは、報奨金を市からも支払うことに加え、古紙回収業者からも支払われる部分があると聞いている。そういうものも併せて、活動に繋げていければと思う。</p>
委員	<p>オイルショックの紙不足の時は、資源回収の新聞単価は1kgあたり50円ぐらいまで上がった。それに比べて今は一桁単位である。かける労力とやる気の問題である。射水市は子育て支援策を強化しているので、そういった観点からも検討いただければと思う。こういった資源回収の取組は大事なものである。資源循環を図っていくにあたり、潤滑のためのオイルの補給をしてやるのも</p>

会長	一つではないかと思う。
事務局長	他に質問などはないか。無いようであれば、事務局からは何かないか。
事務局長	ただいま委員の皆様へ審議いただいた内容を反映させたものに修正し、本年度の計画とさせていただきます。
会長	議事（１）について、ただいま事務局から説明があったかたちで承認とさせていただきます。
委員一同	異議なし
会長	それでは、議事（１）令和２年度射水市一般廃棄物処理の概要及び令和３年度一般廃棄物処理実施計画については承認とする。

（２）第２次射水市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

委員	最終処分場である野手埋立処分所の令和３年３月末現在の残容量が３万７千７０２立方メートルは埋立可能となっている。現在も埋立は進んでいると思うが、残容量がなくなった後の計画についてどうなっているのか。
事務局	埋立物に覆土材の容量も含めて計算すると、現在の見込みでは令和９年度まで使用可能だと試算をしている。令和４年度にこの先の埋め立て処分場をどうするかという整備方針を含む基本計画を作成予定である。
委員	<p>中間見直し概要の７ページの新規・拡充の取組の中で、フードドライブ事業の展開により食品ロスの削減を図る。としていることについて、フードドライブ事業についてはとても良い取組だと思う。SDGsにも関連するものである。</p> <p>この取組は年に数回は実施してもらいたい。生活困窮者もおられ、ひとり親家庭も厳しい状況にある。</p> <p>実施の新聞記事を見たが、回収した食品はどういった方々に提供されたのか。</p>
事務局	フードドライブ事業については昨年度から計画しており、アルビス株式会社との包括連携協定に基づき４月に第１回目のフードドライブを実施させていただいた。４月の実施の際には想定して

委員	<p>いたよりも多くの食品を提供いただき、多くの反響をいただいたこともあり、来年2月にも実施を予定している。</p> <p>食品の提供先については、本市の社会福祉協議会を通して、市内の福祉団体に届けていただいている。一部はこども食堂にも寄付している。また、フードバンクとやまを通して色々な施設に届けていただいている。</p> <p>フードと付くイベントについては、フードバンク・フードドライブ・フードパントリーという3つの手法がある。市民の善意で集まった食品の提供について周知はしているのか。</p> <p>また、ひとり親家庭には届いているのか。射水市には射水市母子寡婦福祉連合会という団体があるが、そちらの方にはいただけていないように思う。このことについてはどうか。</p>
事務局	<p>結果については市のホームページにおいて報告させていただいている。</p> <p>また、ひとり親家庭への提供については、子育て支援課と連携しているひとり親家庭の支援団体にもお届けしている。引き続きそういった方々にも届けれるよう事業を展開していきたいと考えている。</p>
委員	<p>ひとり親世帯への支援については、国・県・市を挙げて支援をいただけており、特に射水市は力を入れていただいているが、4月に行われたフードドライブについては母子寡婦福祉団体の方には連絡が届いていない。子育て支援課に託すのも一つだが、福祉団体への提供と先程の説明にもあったので、直接連絡をしていただくべきだと思う。そのあたりの返事をはっきりといただけないのが残念であるが、今後そのようにしていただけるとありがたい。また、支援の例として富山市のライオンズクラブでは年間に2回ひとり親を対象としたフードパントリーを実施している。</p>
事務局	<p>前向きに検討させていただく。</p>
会長	<p>フードドライブ事業は凄く良い事業なので、年一回だけではなく、拡充を検討いただければと思う。</p> <p>他に質問等はないか。無いようであれば、事務局から何かないか。</p>

事務局	<p>議事（２）について、ただいま委員の皆様へ審議いただいた内容を反映させた「第２次一般廃棄物処理基本計画」を12月市議会で説明し、その後パブリックコメントを経て、来年の２月頃を目途に委員の皆様へ報告させていただきます。</p>
会長	<p>議事（２）について、ただいま事務局から説明があったかたちで進めることを審議会として了承してよいか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>
会長	<p>それでは、議事（２）第２次射水市一般廃棄物処理基本計画の見直しについては、事務局から説明があったかたちで進めることを了承する。</p>